

## ビクトリア州乳児聴覚検査プログラム

赤ちゃんの 聴覚スクリ



#### 新生児聴覚スクリーニングとは?

出産後、赤ちゃんは多数の決められた健康診断を受けます。新生児 聴覚スクリーニング検査はそのうちの1つですこれは、赤ちゃんの 聴覚を検査するための無料で簡単な検査です。新生児聴覚スクリー ニングは、本格的な聴覚検査を受ける必要がある赤ちゃんを特定します。ビクトリア州では、新生児聴覚スクリーニング検査は、 Victorian Infant Hearing Screening Program (VIHSP) が実施しています。

### スクリーニングが重要な理由は?

毎年、聴覚障害をもって生まれてくる赤ちゃんが少数います。成長するにつれ、このような聴覚障害が発話や言語能力に影響を及ぼす可能性があるため、早期に特定して支援を提供することが重要です。 生後数週間、家族は赤ちゃんの聴覚障害に気づかない可能性がありますが、聴覚スクリーニング検査では通常、聴覚障害を検出できます。

VIHSPでは、ビクトリア州の赤ちゃんに聴覚障害があるかどうかをできるだけ早期に発見することを目標としています。早期に検出すれば、すべての家族が最初から優れたアドバイスと支援を受けることができるため、聴覚障害のある赤ちゃんは、可能な限り最適な人生のスタートが可能になります。

# 私の赤ちゃんが病院でスクリーニングを受けることができない場合はどうしますか?

退院する前にVIHSPスクリーニングを受けることができない赤ちゃんもいます。これには、赤ちゃんと母親の入院期間が短い場合や、赤ちゃんが落ち着かなくてスクリーニングを受けることができない場合などが含まれます。退院する前に赤ちゃんがスクリーニングを受けることができない場合、スクリーニングの時間を手配するために、こちらから連絡します。

新生児集中治療施設または特別ケア保育室で治療を受けている、あるいは妊娠34週間以前に生まれた赤ちゃんについては、退院できる 準備ができるまでできる限り綿密な検査を行います。

## 聴覚スクリーニングはいつどのようにして実施しますか?

赤ちゃんが健康で落ち着いている限り、生後できるだけ早く 聴覚スクリーニングを実施するようにしています。スクリーニ ングの実施中、聴覚スクリーニングの検査官は、赤ちゃんの 額、肩、首の後ろに貼り付け式の小型センサーを装着し、 両耳に柔らかいイヤーカップをつけます。これらを Automated Auditory Brainstem Response (AABR) 装置に接続します。小さいカチッという音が、イヤーカップ を通じて赤ちゃんの耳に再生されます。貼り付け式のセン サーは、音に対する赤ちゃんの反応を検出します。

赤ちゃんが落ち着くか、眠った後、スクリーニングにかかる時間は通常10分未満です。スクリーニングに伴う痛みはなく、通常赤ちゃんがぐずつくことはありません。スクリーニング中に付き添い、赤ちゃんを抱いていたり、授乳していただいて構いません。

スクリーニングを開始する前に、書面の同意書に署名していただきます。赤ちゃんにスクリーニング検査を受けさせたくない場合には、その旨をVIHSP聴覚スクリーニング検査官にお伝えください。別個の拒否フォームに署名していただきます。後で気が変わって、聴覚スクリーニングを受けることを希望する場合、スクリーニングを手配することができます。

## どのようにして結果が知らされますか?

スクリーニングの完了後すぐに結果が知らされます。結果によっては、新生児聴覚スクリーニングの再検査を受ける必要があるか、詳細な検査を受けるために専門医に会う必要のある場合があります。スクリーニング中に赤ちゃんがぐずって落ち着かなかった場合、または耳が一時的に詰まっていた(水など)場合に、再検査が必要となる場合があります。詳細な検査を受けるために専門医に紹介された場合でも、必ずしも赤ちゃんに聴覚障害があるとは限りません。

#### スクリーニングを受けた後はどうしますか?

赤ちゃんのスクリーニングの結果は、赤ちゃんの健康発育記録に 記載されます。赤ちゃんがまだ病院にいる間にスクリーニングを受 けた場合、病院のメモにも結果が記録されます。

赤ちゃんのスクリーニングの結果は、VIHSPデータベースに記録されます。これは、機密のセキュリティで保護された監視対象の記録です。いつでもこの情報のコピーを求めることができます。VIHSPデータベースは、新生児聴覚スクリーニングプログラムの監視と評価に使用されます。この情報が研究目的で使用される場合、親または赤ちゃんが識別される情報は使用されません。赤ちゃんの情報の取り扱いに関する詳細は、VIHSPエリアマネージャーにお問い合わせください。(連絡先情報はパンフレットの裏面にあります)。

追加の検査のために、赤ちゃんを専門医に紹介する必要がある場合、初期サポートサービス (Early Support Service) が追加のサポートを提供します。赤ちゃんが追加の検査を受ける場合、VIHSPは、専門医、医師、母子保健看護師、ビクトリア州ろう教育研究所

(Victorian Deaf Education Institute)、幼児仲介サービス、またはその他の健康/教育専門家と、赤ちゃんの出生に関する情報、連絡先情報、およびスクリーニング/聴覚検査の結果を共有する必要のある場合があります。これは、医療関係者が結果を確認し、赤ちゃんのために適切なサービスを計画したり、必要であれば治療の計画を立てることができるようにするためです。

## 聴覚は時間の経過とともに変わる可能性があります

赤ちゃんが成長するにつれ、聴覚に注意を払うことが重要です。 赤ちゃんの聴覚、発話、言語の発達について心配している場合、 聴覚スクリーニング検査に合格した場合でも、再度聴覚検査をい つでも受けることができます。直接専門医に電話するか、母子健康 看護師またはかかりつけの医師に頼んでください。赤ちゃんの聴 覚検査の結果について、VIHSPは通知を受ける場合があります。

#### 頻繁に尋ねられる質問(FAO)

## 私の赤ちゃんは大きい騒音に反応します。なぜ、スクリーニングや専門医への紹介が必要なのですか?

聴覚障害は、大きい音が聴こえるかどうかというより複雑な問題です。聴覚障害のあるほとんどの赤ちゃんは、大きな音に反応します。発話と言語の発育にとって重要な音は、小さい音であり、特別な機器を使用せずに新生児がこれらの音が聴こえるかどうか検査するのは困難です。

## スクリーニングは安全ですか? スクリーニングのリスクは何ですか?

聴覚スクリーニングは、すばやく安全です。赤ちゃんは、イヤーキャップを取り外すときに少し不快感を覚える可能性があります。 聴覚スクリーンでは、さらに調査を必要とする聴覚をもって生まれた赤ちゃんを検出できないかもしれないという、小さいリスクがあります。

### 聴覚スクリーニング検査をしないリスクは何ですか? スクリーニングに代わる検査は何かありますか?

聴覚スクリーニングをしないことの主なリスクは、赤ちゃんに聴覚障害があった場合に診断が遅れることです。早期の診断により、聴覚障害のある赤ちゃんに可能な限り最適なサポートが提供されます。新生児聴覚スクリーニングに代わる検査はありません。

覚えておいてください 聴覚は、何歳になっても検査できます

## 質問または懸念がありますか?

VIHSPに連絡してください

VIHSPスクリーン検査官に相談してください

VIHSP本部(詳細は以下)

VIHSPエリアマネージャー

#### VIHSP本部

The Royal Children's Hospital Melbourne Centre for Community Child Health 50 Flemington Road Parkville Victoria 3052 Australia 電話 +61 3 9345 4941 電子メール email.vihsp@rch.org.au www.vihsp.org.au

#### Melbourne Children's

A world leade in child and adolescent health





